

南三陸町図書館 支援活動報告書

1 南三陸町図書館支援活動を行いました

平成 23 年 8 月 21 日，平成 23 年 9 月 23 日～25 日の 4 日間にわたり，宮城県内外の図書館へ呼びかけ，南三陸町図書館の支援活動を行いました。

4 日間の延べ参加者は，117 名にのぼり，北海道から九州まで全国各地から参加をいただくことができました。また，この 4 日間は，宮城県立視覚支援学校，宮城県立聴覚支援学校の協力によりマイクロバスを借りることができました。

以下は，この支援活動の概要です。

参加人数

	参加者	参加者の内訳
8 月 21 日	25 名	宮城県図書館職員 8 名，県内公立図書館等職員 5 名，大学図書館等職員 6 名，日本ブッカー株式会社 3 名，日本図書館協会 2 名，その他 1 名，
9 月 23 日	36 名	宮城県図書館職員 6 名，県内公立図書館等職員 7 名，大学図書館等職員 7 名，東北福祉大学星山ゼミ生 4 名，saveMLAK 12 名
9 月 24 日	30 名	宮城県図書館職員 6 名，県内公立図書館等職員 5 名，大学図書館等職員 3 名，東北福祉大学星山ゼミ生 5 名，saveMLAK 11 名
9 月 25 日	26 名	宮城県図書館職員 7 名，県内公立図書館等職員 3 名，大学図書館等職員 4 名，東北福祉大学星山ゼミ生 1 名，saveMLAK 10 名，その他 1 名

参加者の所属機関

宮城県図書館，白石市図書館，大崎市図書館，東松島市図書館，岩沼市民図書館，美里町小牛田図書館，加美町中新田図書館，加美町小野田図書館，仙台市広瀬図書館，東北大学附属図書館，東北大学附属図書館北青葉山分館，宮城大学事務部，弘前大学附属図書館，東北生活文化大学附属図書館，東北工業大学附属図書館長町分館，羽陽学園短期大学附属図書館，東北大学理学研究科数学専攻研究資料室 ほか

2 南三陸町図書館支援活動(I) -8月21日

8月20日・21日の二日間、日本ブッカー株式会社の協力により、南三陸町図書館の職員に対して、図書資料へのフィルムコーティング講習会を行いました。南三陸町図書館支援活動は、この講習会の2日目に合わせて実施されたものです。

この日は小雨が降る中ではありましたが、(1)南三陸町図書館に寄贈された図書資料へのフィルムコーティング等の実施 (2)図書館プレハブの清掃、資料の移動を主に行いました。

参加者の中で、コーティング作業未経験者は、図書館職員と一緒に講習会を受講し、コーティングを覚えてから装備作業に従事しました。

写真：フィルムコーティング講習会の様子



写真：プレハブ清掃の様子



3 図書館支援活動(II) -9月23日~9月25日

9月上旬、南三陸町生涯学習課では、10月5日に図書館を再開するということを決定しました。

これを受け、図書館の環境整備を含めた再開までに必要な作業を集中的に支援しようと「南三陸町図書館支援活動(II)」が企画されました。

3日間の延べ参加者は92名を数え、県内外の公共図書館、大学図書館の職員のみならず、社会教育を学ぶ学生も参加してくださいました。見渡せば、北は北海道、南は九州から参加してくださる方々の姿がありました。

作業としては

- (1) 図書の装備（コーティング、蔵書印、資料ID貼付、背レベル貼付）
- (2) 未開梱資料の選別
- (3) 開梱済み資料の選別
- (4) 書架周りの装飾
- (5) 閲覧室周りの装飾
- (6) システムへの登録
- (7) 倉庫（歌津）の整理

(8) 物資（名足小学校）の選別

(9) 環境整備

などを実施しました。

プレハブ 2 棟を書架と閲覧室に，トレーラーハウス 1 棟を事務室に，さらに移動図書館車を組み合わせた仮設図書館は着々とその形が作られていきます。

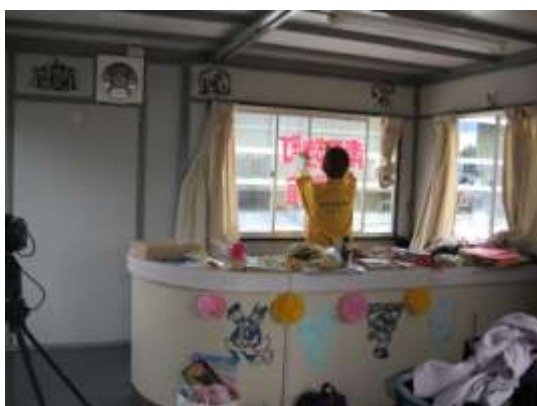
写真：資料の選別



写真：装備作業（コーティング，蔵書印，システム登録など）



写真：プレハブ周りの装飾



写真：書架の装飾と配架



写真：環境整備（砂利入れ、整地）



今回の活動では様々な作業が行われました。

図書館を訪れる人たちが転ばないように、図書館周辺を整地したり、狭いとはいえ、少しでも和めるようなスペースを演出する飾り付けをするということも行いました。また、これから町の職員が業務にあたるための手順書を作成することもできました。

4 再開館式を行いました

平成 23 年 10 月 5 日(水) 午前 9 時 30 分から、南三陸町図書館が再開しました。



再開館式では、開会挨拶を佐藤仁南三陸町長が行い、宮城県図書館長から来賓祝辞が寄せられました。来賓には、南三陸町議会議長、南三陸町教育委員長、南三陸町図書館協議会会長、南三陸町図書館協議会の委員の方が出席され、また志津川保育所から 30 名ほどの子どもたちが招待されました。



写真：開会挨拶（佐藤仁南三陸町長）



写真：来賓挨拶（和賀修治宮城県図書館企画管理部長 代読）

及川庄弥図書館長から図書館のあゆみが報告されました。昭和34年に公民館落成後、チリ地震による大津波を経験し、図書館条例の公布施行、市町村合併による南三陸町図書館の設置、東日本大震災による蔵書・建物の流失、各種の支援活動について経過を話されました。



写真：及川庄弥図書館長による南三陸町図書館に関する経過報告

続いて、図書館へ看板が掲揚されました。看板は、阿部頼人氏（宮城県図書館）により書かれたものです。



写真：看板掲揚の様子



写真：再開後の図書館の様子

南三陸町に仮設の状態とはいえ、図書館を再開できたのは、支援活動に参加いただいた方々、参加にあたり支えてくださった方々のご理解とご協力があったものです。この場を借りて御礼申し上げます。

引き続き、ご支援をよろしく願いいたします。

みなさんの南三陸図書館が再開します

いつでも
お気軽に
お越しください

調べ物があるときに。読書を楽しみに。
心を整理したいときに。気分転換に。
図書館は、みなさんの味方です！



南三陸町図書館のあゆみ

昭和 34 年	1 月 14 日	志津川町公民館新築落成
昭和 35 年	5 月 24 日	チリ地震による大津波で蔵書流失 その後、町内の寺山氏より 500 冊を受贈し図書館活動を開始
昭和 46 年	3 月 1 日	公民館移転に伴い、公民館跡地を公民館図書部として開設
昭和 48 年	9 月 30 日	志津川町中央公民館新築
昭和 56 年	7 月	移動図書館車が寄贈される
昭和 62 年	9 月 25 日	志津川町図書館条例公布施行により、志津川町図書館となる
	11 月 1 日	志津川町図書館協議会規則公布施行。 志津川町図書館管理規則公布施行。初代館長（兼任）が発令
平成 2 年	3 月 26 日	志津川町図書館が、旧志津川簡易裁判所跡を改修し移転
平成 6 年	3 月 26 日	閲覧室を増設（60 平方メートル）
平成 17 年	10 月 1 日	志津川町、歌津町の合併により「南三陸町」となる。 南三陸町図書館および歌津公民館図書室にて、図書館活動が展開される。
平成 18 年	10 月 1 日	歌津公民館の新築落成
平成 22 年		新図書館の移転計画に着手
平成 23 年	3 月 11 日	東日本大震災により、南三陸町図書館の蔵書・建物が流失 歌津公民館の蔵書が流失、建物が全壊 以降、全国各地より支援を頂いて、図書館再開に向けて活動
平成 23 年	10 月 5 日	ベイサイドアリーナ前のプレハブにて仮設図書館として再開



..... ご支援・ご協力ありがとうございました

財団法人図書館振興財団（ユニットハウス、移動図書館車の貸与）／ライオンズクラブ（トレーラーハウスの貸与）
財団法人中国地方郵便局長協会（図書費）／大震災出版対策センター（図書）／愛知県尾張旭市和泉様（図書）
群馬県読み聞かせグループ協議会（図書）／愛知県蒲郡市船坂様（図書）／東京都板橋区内藤様（図書）
岩手大学（文房具等）／仙台市東六児童民生委員協議会（図書）／宮城県図書館（図書館運営全般）

他にも、全国より書籍の寄贈を多数いただきました。

また、図書館再開にあたり、宮城県図書館をはじめ、県内外の公共図書館・大学図書館等の図書館司書の皆さまにも多くのお手伝いを頂きました。個々人のお名前を記載できずに申し訳ありません。

この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

